

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電信写

8-48

総番号 (TA) R098823 5188 主管
 79年 月 07日 03時 15分 中 国 発
 79年 12月 07日 04時 41分 本 省 着

外務大臣殿 臨時代理大使 総領事 代理

総理訪中 (大平総理-トウ小平会談) (A)

第2637号 極秘 大至急

往電第2636号に関し

中国情勢及びインドシナ問題に関する部分次のとおり。

1. 中国情勢

(1) 大平総理より、中国自身中国の将来のすがたをどう考えているか、近代化、民主化をどういうフレームワークで行おうとしているかについて質問されたのに対し、「トウ」は以下の如く述べた。

(イ) 「4つの現代化」は最初、故毛主席、故シュウ総理が提しようしたものである。目標は中国のまずしく立ちおけている状態を変えることにある。つまり人民の生活を向上させること及び国際社会でも中国にふさわしいこうけんを行いたいということである。立ちおけているとバカにされる。現にソ連は中国を見くだしている。

(ロ) 「4つの現代化」は中国式のそれである。今世き末になつても中国の個人所得はまだ非常に低いものであろう。1000ドルに達するまでにはなみなみならぬ努力が必要である。すべての家でいて車を持つことを考えているのではない。ただし

「4つの現代化」が達成されたあかつきには、第三世界のよりまずしい国に対しより

大政事外儀
事務次長
臣官官密審長長
密総人電在儀

参对文会厚海
 調査長 参企初調
 領移長 参一旅移
 二查
 長 次地中東
 東 難
 参北一西 対

米長 北北保
 中南密 参一二
 欧長 参西東洋
 西東二

通分長 参一二
 経長 参経国資源
 経国資
 参
 経協長 参政技一開
 技 二二理
 書圖二二理
 条長 参条協規
 国長 参企軍專
 政経
 科密 科原
 情長 参道フ内外
 文長 参一二

注 意

秘密指定解除
情報公開室

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電信写

多くの援助が可能となろう。

(ハ) 中国が国際的に競争相手となるのではないかと心配する向きがある。しかし「4つの現代化」が達成されても、いわば「小こう状態」の現代化であるから心配はいらない。逆に現在のような状態では外資導入、技術導入をしてもその償かん能力に問題が出てくる。また (中国がゆたかになり) 国内の市場が大きくなることによつて現在輸出に向けざるを得ないものを国内向けとすることができる。

(2) 以上に対し大平総理は、わが国の近代化は中国より早く、ある程度の成功をおさめたが、振り返つてみると試行さく誤のくり返しであり、都市政策、かん境保護政策等で後遺しをを残してしまつた。中国はかかる前車のテツをふまないよう、友人として希望しておきたい旨述べられた。

2. インドシナ問題

(1) 「トウ」よりインドシナ問題について述べたいとして以下の発言があつた。

(イ) 中国はベトナム問題を中国の利益からではなく、世界の戦略的かく度から考えている。仮にベトナムが東南アジアを支配しても中国へのきよういはそれほど大きくない。それに中国はまずしくとも大きな国であり、自給自足が可能である。

(ロ) ベトナムがインドシナ連邦を実現するということはソ連がそこに軍事基地を設けることである。たとえ南の方から中国が攻撃を受けても南の3省で結構相手にすることができる。従つてベトナムのソ連基地からのきよういは中国に対するものではない。日本はきよういを受ける方であろう。米国もまたきよういを受ける方ではないであろうか。なぜならばソ連はアジア・太平洋とインド洋で海、空軍の増強を計つており、その間にマラッカ海きようがあるからである。従つてソ連のかかる戦略的な基地の建設を粉さいしない限りとんでもないことになる。この点については日本は意見を

R 0 9 8 8 2 3 - 0 2

注 意

秘密指定解除

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般 情報公開室 問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電 信 写

異にするかも知れないが、友人として日本政府に真げんに考えてもらいたいと申上げたい。

(ハ) カンボディアについては最終的には政治的解決が必要となろう。ただしその時期は未だ到来していない。政治的解決の前提はヴェトナムがカンボディアから引きあげることである。カンボディアの問題はカンボディア人自身が決めればよく、ポルポトがだめならばシハヌークであれ、だれであれカンボディア人が選ばばよい。

(ニ) もちろん、この前提は現在は実現できないが、ベトナムの現在の困難(生活条件の悪さ、物不足、低賃金、食りよう不足)が更に悪化すれば、政治的解決ができる可能性もあろう。

(ホ) 中国は一度教訓を与えた。これを失敗とみる向もあるが、これによつてベトナム軍が60万から100万に増強されたのはわれわれの成功であつた。それだけベトナムの負担が増大したからである。ベトナムはソ連からの1日200万ドルの輸けつにたよつている。モンデイル米副大統領によれば今年のソ連の対越援助は7億5000万ドルにのぼる由であるが、日用品等は少ない。よつて、カンボジア、ラオスへの侵略は、ベトナムにとつて大きな物となる。かかるに物はベトナムがソ連にせ負わせておけばよい。かれらがかかえきれなくなつた時が、政治的解決の時かもしれない。

(ヘ) 現在ベトナムはかん期攻勢をかけているが、民主カンボジア勢力が消めつすることは無いと思う。民主カンボジアがその20%の力を保持できればよい。(ここで中国の抗日戦争の時の軍の縮少の経験につき言及)

(ト) 現在西欧に民主カンボジアの承認をとりけす動きがあるが、中国は賛成できない。

R098823-03

注 意

秘密指定解除

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については電信一般 情報公開室 問合せ係 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電 信 写

(チ) 以上がインドシナに対する中国の考え方であるが、もちろん日本の具体的政策は日本の決める問題である。

(2) 上記に対し大平総理は、わが国としては従来より、あらゆる国際紛争は話し合いで解決すべきであると考えていること、対越援助は約束をしてあるので行うが、時期については検討していること、この点については中国は意見があるが、日本政府の立場として聞いてもらいたい旨述べられた。

(丁)

写手交済(7日4時59分)